

令和7年度 第1回 北部中学校運営協議会 会議録

1. 開催日時 令和7年4月25日(金)13時30分から15時30分
2. 開催場所 北部中学校 会議室
3. 出席委員 遠藤 喜和 谷口 幸子 高木早由里 佐野 孝輔
石坂 昌義 安藤 菜苗 松山 佳典
4. 欠席委員 なし
5. 学校支援コーディネーター 欠席(渡邊 薫)
6. 学校 渡辺 博幸(校長) 井口 崇光(教頭) 平松 光宏(CS担当職員)
松島 愛(3学年主任)
7. 教育委員会 牧野 知子(教育総務課)
8. 傍聴者 なし
9. 会議録作成者 井口 崇光(教頭)
10. 会長の選出及び副会長の指名
司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、佐野委員から遠藤委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。また、その後、会長に選任された遠藤委員から、佐野委員を副会長に指名する旨の報告があった。
11. 議長の選出
司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、遠藤会長から佐野委員を推挙する旨の発言があり、全員意義なくこれを承認した。
12. 協議事項
 - (1)北部中学校運営基本方針について
 - (2)いじめ防止等のための基本的な方針について
 - (3)夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について
 - (4)2年生未来授業・勤労体験学習について、3年生生き方指導について
13. 会議記録
 - ・初めに校長の挨拶があり、続いて新規委員の任命が行われ、出席者が自己紹介を行った。
 - ・熟議に先立ち、委員の方々に授業・校内風景をご参観いただいた。
 - ・司会の教頭から、委員総数7人のうち7人の出席があり過半数に達しているため、会議は成立している旨の報告があった。
 - ・教育委員会から浜松市学校運営協議会規則(第3・5・6・7・10・12・14・16条)について説明があった。
 - ・校長から、前回(令和6年度第3回)会議録および、令和6年度協議会自己評価についての説明を行った。

(1)北部中学校運営基本方針について

議長の指示により、校長から、別紙資料に基づき学校運営基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・先ほど授業を参観して、先生方の板書が丁寧で見やすかった。学校経営の重点にも「授業の充実」とあるが、ぜひ実現できるように授業づくりを進めてほしい。(遠藤委員)
- ・生徒たちが楽しそうに授業を受けていた。(安藤委員)
- ・対人のコミュニケーション力も大事だが、AIに対応していくために、質問力や語彙力なども必要になってくる。キャリア教育の観点からも、実際にAIを活用している分野の方に話を聞くなどの体験をさせていってほしい。(石坂委員)
- ・学校経営の重点に、「生徒が一生懸命に取り組む学校行事」とあるが、自分の子供の経験からも、三ヶ日まで25km歩く行事はとても良い行事だと思う。ぜひずっと残してほしい。(高木委員)
- ・南海トラフなど、災害時に動けるのは若い人である。中学生が災害時にどんなことができるかなど、防災教育を推進してほしい。また、南門付近の学校敷地内に防災用の貯水槽があると聞いたが、一度確認しておきたい。(松山委員)
- ・本校だけではないが、若手の先生が増えており、生徒指導への対応をどのように工夫しているかを知りたい。生徒たちに夢や目標を持たせる意味でも、大人が楽しそうに働いている様子を見せてくれるとよいと思う。(佐野委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(2)いじめ防止等のための基本的な方針について

議長の指示により、平松教諭から別紙資料に基づき浜松市立北部中学校いじめ防止基本方針について説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・いじめはなくなるものではないが、「いじめの起きにくい学校」にはできると思う。そのためにも、先ほどの参観で見たような、授業での学び合いや交流の場面を継続していってほしい。(遠藤委員)

協議の結果、全員意義なくこれを承認した。

(3)夢育やらまいか事業CS加算分に対する意見書について

井口教頭から別紙資料に基づき、夢育やらまいか事業の趣旨説明およびCS加算分に対する意見書について説明があった。

(4)2年生未来授業・勤労体験学習について、3年生生き方指導について

2学年主任の平松教諭から2年生対象の未来授業と勤労体験学習に説明があり、続いて

3学年主任の松島教諭から3年生対象の生き方指導と進路に向けた面接指導の説明と協力要請があった。

14. 報告

前年度PTA会長の石坂委員および今年度PTA会長の安藤委員から、PTA加入率についての説明があった。

その他の連絡事項

司会から、次回会議は、11月17日(月)午後2時00分から会議室で開催する旨の報告があった。